



公益社団法人 日本作曲家協会会報

No. 173

<http://www.jacompa.or.jp>

JAPAN COMPOSER'S ASSOCIATION

平成25年度 定期総会を開催



公益社団法人・日本作曲家協会は、平成25年度定期総会を5月27日（月）午後2時から、JASRAC「けやきホール」で開催、上程議案をいずれも原案通り承認可決した。

定期総会冒頭で、四方章人事務局長から総会の成立条件である出席状況（会員総数601、本日出席者113、委任状出席者289、計402）の説明があり、「定款第17条」の規定による「総正会員数の過半数を超える正会員」の出席が確認されたため総会成立が宣せられた。「定款第22条」に基づき服部克久会長が議長席につき、川口 真理事長、丸山雅仁監事もそれぞれ所定の席につき、服部会長の開会挨拶で始まった。

次いで、「定款第18条」による議事録署名人を議長・服部克久氏と大谷明裕、若草 恵の3氏に委嘱、全員の拍手をもって決定された。

議長の開会宣言の後、弦 哲也常務理事が第1号議案「平成24年度事業報告」を行い、四方章人事務局長が「収支決算報告」を行った。続いて丸山雅仁監事から監査報告があり、数名の会員からの質疑を経て、全員の拍手をもって可決・承認された。

引き続き第2号議案「平成25年度事業計画案」と「平成25年度収支予算案」が説明され、全員の拍手により原案通り可決・承認された。

次いで、第3号議案「平成25年度役員選任の件」について、去る4月8日に開票された役員選挙の結果が報告され、「役員候補者推薦規則第5条1項」の規則により上位14名と「同2項」の規則による4名の理事会推薦候補の計18名が総会に推薦され、更に、「役員候補者推薦規則第7条」の規則により、2名の監事候補者及び補欠1名が推薦され、全員の拍手により承認された。

その後、「定款第20条2項」の規定により、総会で承認された理事による会長・理事長・常務理事選任のため、別室で臨時理事会を開催し協議を実施、総会議場に戻り決定した代表理事（会長・理事長）及び業務執行理事（常務理事）5名を発表、あらためて議長席に叶 弦大新会長、副議長席に弦 哲也新理事長が着席、就任挨拶が行われた。それに対し、数名の会員から新体制に対する要望や期待が表明された。最後に、当協会代表理事として永きにわたり貢献された、服部克久前会長、川口 真前理事長の功績を称え、花束が贈呈され、全会員から盛大な拍手が送られ閉会となった。
(新理事・監事に関しては2面に記載)

総会の模様



弦 哲也新理事長



叶 弦大新会長



四方章人事務局長

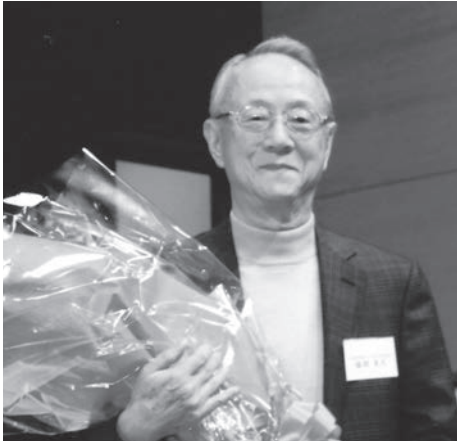
総会風景



質問する会員



◆事務局次長	◆事務局長	◆顧問	◆最高顧問	◆監事補	◆監事	◆常任監事	◆理事会推薦理事	◆理事	◆常務理事	◆理事長	◆会長	新役員										
荒木 主 男	四方 章 人	川口 克 真	服部 久 徹	船村 薫 人	三鷹 淳 仁	丸山 雅 仁	幸藤 耕 平	田尾 将 実	若草 恵 三	蘭一 二 郎	望月 吾 郎		水森 英 夫	前田 俊 明	大谷 高 輝 裕	大 方 章 人	平尾 昌 晃	聖川 久 司	徳川 千 秋	岡 千 秋	弦 哲 也	叶 弦 大



服部克久前会長



川口 真前理事長

懇親会

総会終了後、隣接の「リブレ」で懇親会が催され、岡 千秋常務理事の司会進行により和やかにスタート。菅原瑞夫JASRAC理事長と叶 弦大新会長の挨拶の後、弦 哲也新理事長による乾杯発声があり、会場内ではお酒と食事、そしてあちらこちらで楽しい会話の華が咲いた。本日出席の新入会員（堺 直人、五十嵐 隼人、松本知子、鈴木ミチ）4氏が紹介され、入会後の抱負などスピーチが行われた。

午後6時頃、平尾昌晃常務理事の挨拶で中締めとなり、それぞれ帰路に着いた。



和気あいあい懇談



菅原瑞夫 JASRAC 理事長



新入会員の皆さん

中締めの挨拶、平尾昌晃常務理事



総会に初めて出席して

会員同士の作品発表の場を… 鈴木ミチ

私はシンガーソングライターとして自分の世界を表現し、「歌手として成功したい!」という気持ちで活動しておりました。が、自分の作品をもっと良いものにすべく、他のアーティストさんへの楽曲提供も始めたことから、作曲を更に勉強したいと思い、この度、入会させて頂きました。

初めて総会に参加し、まずは私自身30代であり、まだまだ若輩者なので場の雰囲気に圧倒されてしまいました。作曲家協会の先生方というと、演歌というイメージが強かったのですが、いろんな先生方のお話を拝聴し、曲はジャンルではなく良いものを残すというのが最も大事なのだ改めて感じました。私自身、演歌を作曲したり歌ったりできない事もあり、今まで聴く機会も少なかったのですが、もっといろいろな作品に触れていこうと思いました。

会員同士の作品を発表しあえる場(コンサートや発表会)があれば、と思います。今後出会える多くの方々との交流と、多くの作品がこれからの音楽活動にフルに活

用できるよう精いっぱい頑張ってまいります。

さまざまな意見もありまして… 塚 直人

早めに会場入りしたにも関わらず、既に美人受付嬢の方がたが手際良い対応で出迎えて下さり、気分良く開会までの時を過ごせました。やがて開会の時が来て、会場のやや前方に着席。私の推薦人、四方章人先生の24年度決算報告が行われ、質問された方もおられましたが、私は全く異議なしでした。

25年度事業計画案については、弦哲也先生から説明があり、特にオリジナルソング・コンテストは、全員が興味のある内容でした。そしてまた、会費が高い、入選曲をもっと取り上げて欲しいという意見や、永年会員でも利点が無いと感じておられる方もいらっしゃるようですね。

懇親会では音楽家同士の話も出来たのではないのでしょうか。10月下旬の研修旅行を楽しみにしています。作詩家・藤間哲郎先生の弟子として、大師匠に誓った「世に出せる曲作り」に集中したいと思っています。

新理事就任のあいさつ

藤 竜之介

この度、理事という大役を仰せつかる事になりました。厚く御礼を申し上げます。責任の重さに身の引き締まる思いであります。

日本作曲家協会に入会させて頂いて三十余年。広報委員を20年、他にコンサート委員を務めさせて頂いております。今までは只ひたすらに、自分に与えられた仕事をやって行くのが精いっぱいでしたが、今後は会員の皆様のご意見を幅広く、そしてより深くお聴きしながら協会の発展に尽くしたいと思います。

皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。



敏 いとう

私は、遠藤実先生がご存命中にぜひ理事になりたかったのですが、今回念願の理事になることができました。私にとってとても喜ばしい限りです。



今回の選任を受け、会員皆様のためになるよう、これまで口に出せなかった事柄も細かに拾い上げ、皆様の代わりに発言していきたいと思っております。何でも声をかけてください。必ず皆様の意見は理事会で諮ってもらえるようにしたいと思います。

今後の私にどうぞご期待ください。会員のための人として頑張りたいと思っております。

前田 俊明

この度は理事をおおせつかり、ありがとうございます。責任の重い役職をまっとうすべく、心をひきしめています。

私は、古賀政男先生の創設した明大マンドリン倶楽部の出身で、若い頃から先生にお世話になってきました。古賀先生は、当会の初代会長です。「しっかりやりなさい…」と、先生の声が聞こえるようです。

これからは、協会のため、会員のために頑張ります。作品づくりや行事など、皆さまと共に歩んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

